※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「物理」　（東京書籍）						
副教材等	セミナー物理基礎＋物理　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２単位の授業であるため、家庭での学習を怠ると学習内容が定着しません。授業当日の家庭での復習、問題練習を大切にしてください。

２　学習の到達目標

直線上の運動やエネルギー、熱、波についての理解をさらに深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を科学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	さまざまな物理法則などを体系的かつ総合的に理解し，知識を身に付けている。	物理現象から本質を見いだし，科学的に考察したり、発展的に考えたりすることを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	運動とエネルギー	第１章第１節平面運動と剛体のつりあい ①　平面運動 ②　放物運動 ③　剛体にはたらく力	a:物体の運動を水平方向と垂直方向に分けて考えることができるか 物体が斜面をすべるときと回転するときの差が理解できていたか b:剛体にはたらくすべての力を表現できたか c:実験に意欲的に参加したか	○	○	○

※令和４年度以降入学生用

	運動とエネル	第２節運動量の保存 ①　運動量と力積 ②　運動量保存の法則 ③　反発係数	a:衝突，合体，分裂するときの物体の動きを予測できたか b:反発係数の式を使うことができたか c:衝突運動について関心を持てたか	○	○	○
二学期中間	運動とエネルギー	第３節円運動と単振動 ①　円運動 ②　慣性力 ①　単振動 ②　万有引力	a:等速円運動する物体の速度･加速度やはたらく力などの関係が理解できたか b:物体にはたらく力を図示しでき，複雑になったとしても物体の動きを予測できたか c:万有引力がはたらく場における物体の運動に興味関心が持てたか	○	○	○
	運動とエネルギー	第４節気体の分子運動 ①　気体の法則 ②　気体の分子運動 ③　内部エネルギーと仕事	a:気体の分子運動について知識･理解を深めることができたか b:実験の記録､整理から現象の本質を見抜くことができたか c:現象を微視的に捉えることに関心を持てたか	○	○	○
三学期	波動	第２章第１節波の伝わり方 ③　正弦波 ④　波の伝わり方	a:波についての知識･理解を深めることができたか b:　波をグラフ，作図などで表現できたか c:波の様々な現象に関心を持てたか	○	○	○
	運動とエネルギー	第１章第１節平面運動と剛体のつりあい ④　平面運動 ⑤　放物運動 剛体にはたらく力	a:物体の運動を水平方向と垂直方向に分けて考えることができるか 物体が斜面をすべるときと回転するときの差が理解できていたか b:剛体にはたらくすべての力を表現できたか c:実験に意欲的に参加したか	○	○	○

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度